

プール使用者心得（学外者用）

- 1 プールの利用に当たっては、使用許可時間を厳守してください。
- 2 使用者数や救命講習受講者についての条件は次のとおりです。

救命講習受講者2名を含む5名以上の団体で使用し、使用中は救命講習受講者のうち必ず1名は監視業務に当たってください。

なお、監視員は水中から人を救助できる能力（体力、泳力）がある者を選任してください。

プール利用にかかる事故については、施設の重大な管理瑕疵に起因する場合を除き大学は一切責任を負いません。

- 3 水着、スイミングキャップは必ず着用してください。
- 4 プールに入る前に、シャワーで身体を良く洗い、準備運動を入念に行ってください。
- 5 他人への迷惑行為又は潜水等の危険行為は、絶対にしないでください。特に指導者がいない場合のとび込みは絶対にしないでください。
- 6 次の者（場合）はプールに入らないでください。
 - ・ 感染症疾患（眼病、皮膚病、結核等）に罹患している恐れがある者
 - ・ 医師に、心臓疾患等で水泳不可と診断された者
 - ・ 発熱等少しでも身体に異常を感じる時
 - ・ 睡眠不足の時
 - ・ 酒類を飲んだ時
- 7 次の物品等は持ち込まないでください。
 - ・ 現金、貴重品類
 - ・ サンオイル類
 - ・ 眼鏡、時計、ピアス、指輪等の貴金属類
 - ・ 飲食物等
 - ・ 遊具等
- 8 終了後は、うがい及び洗眼をするとともに、シャワーで身体を良く洗ってください。
- 9 万が一事故等が発生した場合は、速やかに守衛室（内線2050）又は事務局（内線1015）に連絡してください。
- 10 無許可で使用した者、迷惑行為又は危険行為等をした者及びその者が所属する団体については、使用を禁止する場合があります。

貴重品等の管理には十分気をつけてください。

屋内プール使用申請書

平成 年 月 日

公立大学法人岩手県立大学理事長 様

団 体 名 :

代表者住所 :

(TEL)

代表者氏名 :



下記のとおり屋内プールの使用を申請します。

なお、使用にあたってはプール使用者心得を厳守いたします。

使 用 目 的	
使 用 日 時	平成 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
参 加 予 定 人 員	人 (名簿を別途提出)
使用責任者氏名 (連 絡 先)	(TEL FAX E-Mail)
添 付 書 類	<input type="checkbox"/> 利用者名簿 <input type="checkbox"/> 救命講習修了証

プール監視者および遊泳者名簿

団 体 名 : _____

使用日時 : 平成 年 月 日 () : ~ :

1. 監視者

氏名	年齢	氏名	年齢

2. 遊泳者

番号	氏名	年齢	番号	氏名	年齢
1			26		
2			27		
3			28		
4			29		
5			30		
6			31		
7			32		
8			33		
9			34		
10			35		
11			36		
12			37		
13			38		
14			39		
15			40		
16			41		
17			42		
18			43		
19			44		
20			45		
21			46		
22			47		
23			48		
24			49		
25			50		

同意書

私たち _____ は下記の内容に同意します。
(団 体 名)

同意内容

1 プール使用内容

- (1) 使用者 上記団体
- (2) 使用日時 上記団体が使用許可申請を行い、公立大学法人岩手県立大学理事長が許可した日時
- (3) 使用場所 公立大学法人岩手県立大学内屋内温水プール及びプール使用に附属する施設

2 同意する事項

- (1) 上記使用団体がプール監視員を選任し、監視業務を行う。
- (2) プール利用に係る事故については、施設の重大な管理瑕疵に係るものを除き大学側は一切責任を負わない。
- (3) 上記使用団体は使用者の中に普通救命講習を受講した者が2名以上おり、普通救命講習を受講した者が監視業務に従事する。
- (4) 監視員は、水中から人を救助できる能力（体力、泳力）がある者を選任する。
- (5) 監視業務に従事する監視員は利用前に大学側から業務説明を受ける。
- (6) プール使用者心得を遵守する。

平成 年 月 日

団体名 _____

代表者名 _____ (印)

救命講習受講者修了証のコピーを添付して提出ください。(2名分)

*再受講等により、裏面に記載ある場合は裏面も添付ください。



【一例】

消防本部 期限、特に無し



普通救命講習修了証

裏面

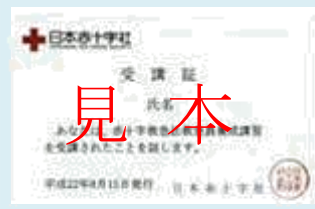
消防

再講習受講の記録 (救命技能を忘れることなく、維持向上させるため2年から3年間隔で定期的に講習を受けてください。)

1 印 2 印

定期的に受講に努めるようにとの文言有り

赤十字 有効期限3年



赤十字 (基礎講習裏面無)



赤十字 (救急法救急員裏面有)
更新の場合、裏面に記載します。